

卓上型手動静電印刷機

スクリーン洗浄

手順説明書

<<< スクリーン洗浄上の注意事項 >>>

熱定着用インキを使用していると、スクリーン面にインキの塊が付着してスクリーンの目詰まりが発生し、特に細い線からつまります。下記の手順で早めに洗浄してください。

スクリーンの洗浄は、ぬるま湯程度の水で中性洗剤（食器洗い洗剤）と食器洗い用スポンジを使用しスクリーンの上側（刷り込み面側）から洗ってインキ等の汚れを落として下さい。乾燥は常温の風を当てて乾燥させて下さい。

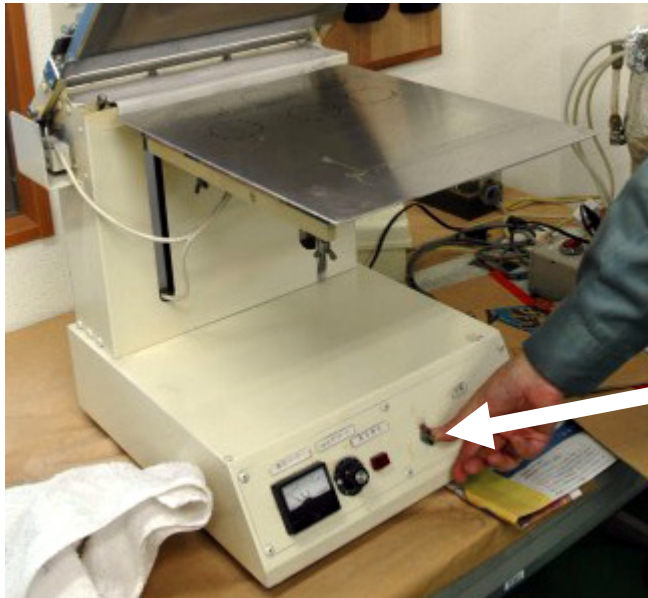
スクリーンに高温を与えますと接着面が剥がれてスクリーンの張りが弱くなり、使用出来なくなります。菓子等の汚れに関しては、ベンジン、シンナー等で部分的に洗浄してください。

エアブロー洗浄及びスクリーン裏面（反刷り込み側）からの洗浄は行わないでください。スクリーン膜の剥がれの原因となります。

熱湯、熱風、コンプレッサーエアーでのガン吹きは厳禁です。

洗浄には 40 前後のぬるま湯を使用してください。

. 電源を切る



1 電源をSWをOFFにします。



. スクリーンの取り外し



2 スクリーンの安全カバーを取り外す。

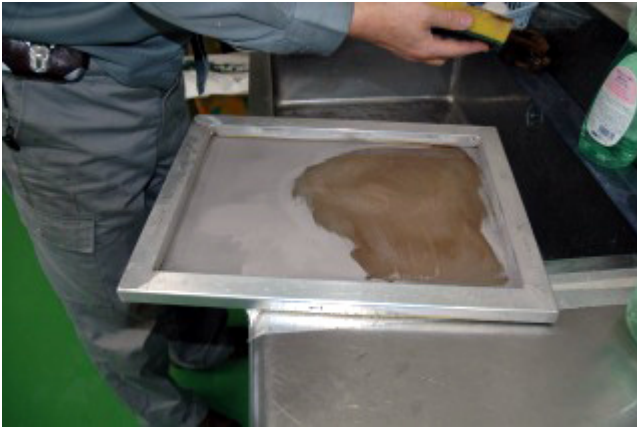
3 スクリーン取り付けネジを緩め、スクリーンを取り外す。

. スクリーンの洗浄

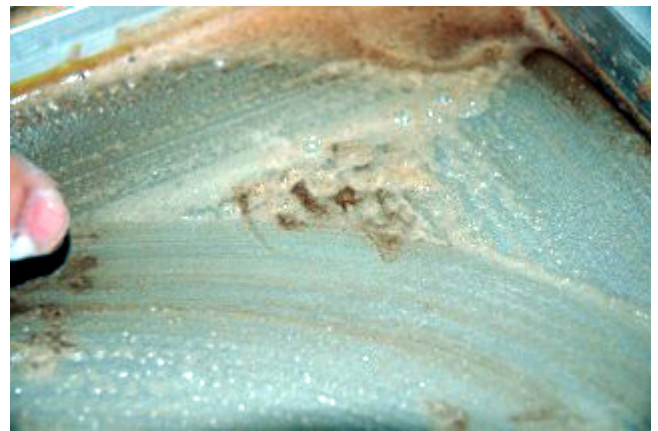


4 中性洗剤（食器荒い用）及び柔らかいスポンジを準備してください。

5 スクリーン上面（刷り込み側）に洗剤を濃い目に塗布します。



6 ぬるま湯（40 位）に浸したスポンジで、洗剤をまんべんなくスクリーン全体に塗りこみます。



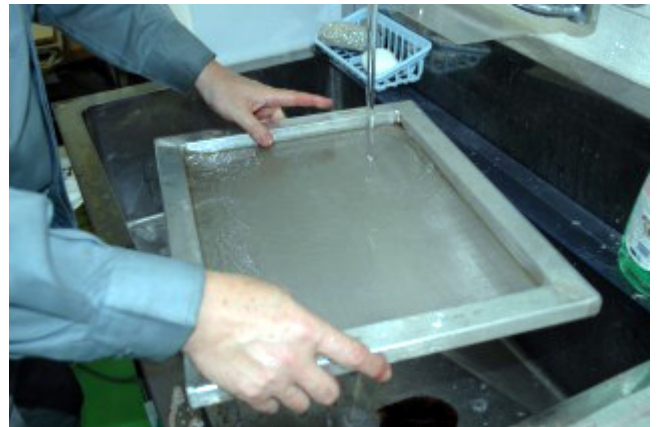
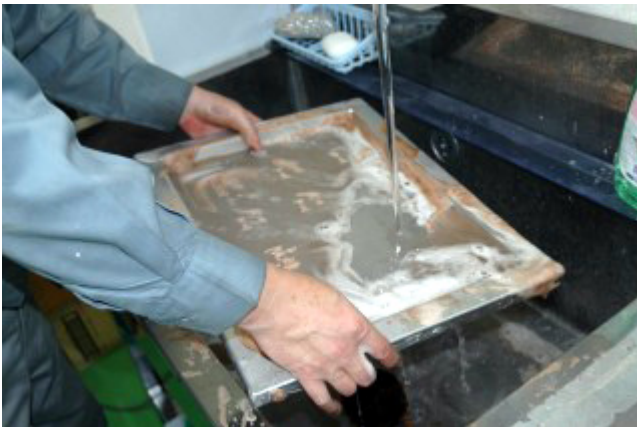
7 2分程放置すると、スクリーンにこびり付いたインクが洗剤に溶けて浮いてきます。



8 更にスポンジでスクリーン全体をこすり洗浄します。



- 9** 裏面（反刷り込み側）は強く擦らないで下さい。
膜の剥離の原因になります。



- 10** ぬるま湯（40 前後）で両面の洗剤を洗い流します。
熱湯厳禁：接着剤が剥がれたり、スクリーンの張りが弱くなります。



- 11** よく水を切り、両面を乾いたタオルで水分をふき取ります。

・スクリーンの乾燥



12 パターンが透けて見えれば OK です。

13 陰干し又は常温の風で乾燥させてください。
10分位で乾燥します。

14 スクリーン裏面（膜面）を手で触るとさらっとしています。
以上でスクリーン洗浄完了です。



・こびり付いた汚れを取るには



15 洗剤では取れない目詰まりには



16 ベンジン又はシンナーを染み込ませた布で、目詰まり部分を拭き取ります。

17 パターンが透けて見えれば OK です。

18 溶剤を良く拭き取り乾燥させてください。手で触ってさらっとする位。

19 再度 **4** ~ **14** の順で洗剤洗浄を行ってください。

20 以上でスクリーン洗浄完了です。